

大震災・復興ニュース(第40報)

平成24年1月20日
仙台地方振興事務所水産漁港部

1 水産業復旧・復興に向けた対応状況(国及び県全体の動き)

復興交付金事業説明会の開催について

平成24年1月26日(木)午後1時30分より、仙台第3合同庁舎7階第二会議室において、市町担当者を対象とした東日本大震災復興交付金事業説明会(水産庁所管事業)が開催される。

会議では水産庁の担当者より「漁業集落防災機能強化事業」「漁港施設機能強化事業」「水産業共同利用施設復旧整備事業」について説明される予定となっている。

宮城県内の水産物の放射性物質測定結果について

宮城県内で採取した水産物について、下記のとおり放射性物質の測定結果をお知らせします。

- 1 測定年月日 平成24年1月6日・7日、12日～17日
- 2 測定分析機関 (財)日本冷凍食品検査協会、(財)日本分析センター、いであ(株)
- 3 測定結果 放射性ヨウ素はすべて不検出であり、放射性セシウムも国が定めた暫定規制値を下回り、安全性に問題がないことが確認された。

水産物(漁獲日 平成23年12月1日、12月28日～平成24年1月10日)

(単位:ベクレル/kg)

種別	漁獲場所	放射性セシウム	種別	漁獲場所	放射性セシウム
メカジキ	太平洋沖合	1.66	ゴマサバ	三陸南部沖	1.86
ヨシキリザメ	太平洋沖合	0.44	スルメイカ	三陸南部沖	不検出
メバチマグロ	太平洋沖合	2.0	ババガレイ(ヌカガレイ)	宮城県沖	11.3
メバチマグロ	太平洋沖合	1.0	マダラ	宮城県沖	2.8
ミスダコ	宮城県沖	不検出	ヒラメ	宮城県沖	18.8
マダラ	宮城県沖	4.4	スルメイカ	三陸南部沖	不検出
イシガレイ	宮城県沖	10.6	キハダマグロ	太平洋沖合	5.3
マコガレイ	宮城県沖	2.3	メバチマグロ	太平洋沖合	2.9
ヒラメ	宮城県沖	7.4	ピンナガ(ピンチョウマグロ)	太平洋沖合	1.47
マイワシ	三陸南部沖	3.0			

放射性物質の値は漁獲日における値を示す。

食品衛生法の規定に基づく食品中の暫定規制値

放射性ヨウ素 2,000ベクレル/kg 放射性セシウム 500ベクレル/kg

宮城県による放射能の測定

これまで東北大学の協力により行ってきた県内の農林水産物の放射能について、県自ら測定することとなった。

測定は産業技術総合センター及び原子力センター検査室（旧消防学校）に整備したゲルマニウム半導体検出器（計3台）を用い、1月16日（月）より運用を開始している。



産業技術総合センターの
ゲルマニウム半導体検出器

復旧・復興支援制度データベース

東日本大震災復興対策本部・内閣官房・内閣府・総務省・経済産業省による「復旧・復興支援制度データベース」が平成24年1月17日から公開された。

本データベースでは個人向け支援制度の検索と事業者向け支援制度の検索が可能であり、国の支援制度に加え、調べたい市町村名を入力することにより、被災地方公共団体の支援制度も検索可能となっている。

アドレスは下記のとおり。

<http://www.r-assistance.go.jp/default.aspx>

このサイトは、
国や地方自治体等が東日本大震災の復旧・復興のために整備している支援制度をご案内しています。
地域別や条件にあった制度を検索することができます。

個人向けの支援制度
225件の支援制度が登録されています。
個人向けの支援制度を探す

事業者向けの支援制度
199件の支援制度が登録されています。
事業者向けの支援制度を探す

NEWS
被災公共団体向け料金はメンテナンス中です。(2012.1.18)
サイトを公開しました。(2012.1.17)

よく寄せられる質問 お問い合わせ

トップページ

< 水産漁港部からのお知らせ >

ノリの入札状況

1月13日（月）、第4回のノリ入札会が県漁協塩釜総合支所の乾ノリ集出荷場で開催された。

・今回の結果は以下のとおり。

数量：14,048千枚（前年同期の72%）、金額：165,440千円（前年同期の100%）

平均落札価格：11.78円/枚（前年同期の139%）

最高値：石巻湾支所産20.01円/枚

・累計結果は以下のとおり。

数量：37,439千枚（前年同期までの27%）、金額：462,564千円（前年同期までの37%）、累積平均単価：12.36円/枚（前年同期までの136%）

・現在の海苔の生育状況としては、降水量が少ないため栄養塩の不足による色落ちが懸念されている。